

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ミックスベリー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点及び課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○		
	②	職員の配置数は適切である	○		当日の利用人数や特性に合わせ、適切な人員配置をしたり、増員出来る体制を作れるよう、他事業所とも連絡を取り合い協力体制を作る
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的にアンケート結果に対する取り組みについて振り返りを行い、改善出来ているかどうか、また何を意識していくか再認識出来る機会を持つ。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修等の情報を目につきやすい場所に提示しMTG等で周知したり、参加できない方がいれば情報提供できる体制を作る。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		翌月の活動内容を前月に話し合い、担当者を決めて準備を進めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		提供できる活動の幅を広げられるよう他の施設見学を行ったり、週単位で活動に変化を持たせられるようにしていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別集団と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		当日の活動予定、役割等が一目でわかるよう記録したり、打ち合わせの内容を閲覧できるようにする。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日の振り返りは翌日に行っているが、重要なことはその都度共有できるようにしている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		ガイドラインは常に貼り出しており、それぞれが活動を考える際にそれをもとに出来るよう声かけしていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		年始めに情報共有に関する事を再度学校側に伝え、送迎時にも近況を話せるようにしていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じ情報提供、相談を行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	必要に応じ、積極的に参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		帰りの送迎時、当日の様子気になる事等をその都度伝えていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	相談等あればその都度対応しているが、こちらからの情報提供等も検討していく。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		新規契約時に伝えているが、必要に応じ再度説明を行っていく。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談時に必要な情報提供、相談等を行っていく。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在行えていないため、今後検討が必要。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		申し入れがあった際は早急に対応していく。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
	③⑤	個人情報には十分注意している	○		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚支援等のツールを取り入れている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアル類の策定は行っているが、保護者への周知は行っていない。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災に対する避難訓練は行っている。今後はそれ以外の災害を想定した避難訓練の実施を検討していく。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年間を通し研修の機会をもち、日頃の支援の中で気になることがあればその都度共有し対応を検討していく。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明した上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		日頃の支援の中でどのような時にその場面が生じえるか、その時に判断に迷わないよう日頃から情報共有を行っている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		気になる事例があればその都度共有、書面に残しその日にいない職員も閲覧できるようにしている。